

活動プログラム案

団体名（特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇〇）

1. 事業内容

☐	子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動
☐	不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動
☒	自然体験、生活体験、社会体験に関する活動
☐	家庭教育支援に関する活動
☐	地域課題の解決に関する活動
☐	地域人材の育成に関する活動

※複数選択可

2. 活動プログラム名

「	地域 みんなが先生！～ふるさとで野外活動を楽しもう～	」
---	----------------------------	---

3. 目 標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等
 課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを
 考えて自分の意見を伝えたりする力を育てる。

4. 活動計画

回数		活動内容・講師・参加人数・会場等	評価方法
第1回		★プログラムの効果的な実施に向けて、関係者で活動の目標や参加者への関わり方について共通理解を図る。 ・活動内容：講師〇〇〇〇氏による講話・ワークショップ ・対象：団体の構成員、地域の関係者、活動に関わる指導者 ・参加人数：〇名 ・会場：〇〇公民館	◆野外活動における指導の留意点や目標を共有し、子どもたちへの関わり方について理解している。 （事後アンケート）
第2回		★課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりする力を育てる。 ・活動内容：ウォークラリー ・対象：小学校3年生～6年生の児童 ・参加人数：30名 ・会場：〇〇市△△体験センター	◆課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりしている。 （行動観察・記録カード・事後アンケート）

複数回活動する場合は「第1回」「第2回」・・・と記載し、宿泊活動の場合は、その一連を一つの活動として「第〇回」としてください。対象者に直接関わる活動や研修会について記載してください。（※実行委員会等の記載は不要です）

第 3 回	★・・・・・・・・ ・活動内容：デイキャンプ ・・・・・・・・	◆・・・・・・・・ (・・・・・・・・)
-------------	---------------------------------------	-------------------------

5. 展 開

「4. 活動計画」を踏まえて各回における活動内容等を記載してください。
枠は必要に応じて増やしてください。

回 時間	内 容	準備物	留意点	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
【第1回】 5分	講話・ワークショップ 【導 入】 ○趣旨説明・ねらいの確認			
60分 45分	【活 動】 ○講話「野外活動を通した 子どもへの関わり方」 講師○○○○氏 ○ワークショップ ・グループに分かれる ・自己紹介・アイスブレ イク ・活動プログラムの目標 (子どもに身に付けさ せたい力)を共有し、 それに向けてどのよう な活動や手立てができ るのかをグループで話 し合う。	・講話資料 ・ホワイトボード ・付せん ・模造紙 ・マーカー ・ワークシート ・名札	・進行：団体の構 成員 ・話し合いの ルールを確認す る。 ・ラベルワークに より意見を出し やすくする。	◆野外活動におけ る指導の留意点 や目標を共有 し、子どもたち への関わり方に ついて理解して いる。 (事後アンケート)
10分	【振り返り】 ○全体共有 ・グループで出た意見を 全体で共有する。 ・まとめ	・事後アンケート		

【第2回】 10分 60分	ウォークラリー 【導 入】 ○趣旨説明・活動の確認 ・活動のめあての共有 ・グループ分け (4～6名程度) ・ルール(制限時間・チェックポイントの課題に対する得点について)を確認 ・コース図の確認 【活 動】 ○スタート・グループ行動 ・各グループ3～5分程度、間隔を空けてスタートする。 ルール説明資料 目標とする対象者の姿につなげるために、どのような活動を取り入れたり、手立てを行ったりするのかを明記してください。 コース図 ○課題の内容 ① ②	【団 体】 ・グループ分け名簿 ・ルール説明資料 ・コース図 ・バインダー ・ストップウォッチ ・課題用紙 ・解答用紙 ・救急セット 【参加者】 ・帽子 ・水筒 ・タオル ・筆記用具 ・雨具	「留意点」には、次のことを記載してください。 ①対象者(参加者)を目標とする姿に育むための手立て ②予想される対象者(参加者)の行動や反応に対する指導者やスタッフの支援の仕方 ③その他、活動する上で配慮が必要なこと ・安全面で配慮が必要な場所やチェックポイントにスタッフを配置する。 ・一人では解決が難しい課題を用意し、子ども同士が自ら話し合いながら解決できるようにする。大人は先回りをせず、見守る。 ◆課題解決が必要な場面で、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりしている。 (行動観察・記録カード) プログラムの目標達成を測るための評価を設定してください。 対象者のどのような発言や行動に注目すればよいのかを明確にし、評価の観点や評価方法を設定することが大切です。
------------------------------------	--	--	--

20分	【振り返り】 ・ 順位の発表 ・ グループごとに振り返りをして、記録カードに記入する。 ・ スタッフから、活動の中で子どもたちの良かった行動や発言を紹介して価値づける。	・ 集計表 ・ 記録カード		◆活動のめあてに 対して自分の行動を振り返り、今後の生活に生かそうとしている。 （行動観察・記録カード）
【第3回】 〇分	デイキャンプ 【導入】 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		